

病院情報

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院



■実働病床数	818床 ※2025年11月現在	■指導医数	128名(歯科含む) ※2025年12月現在	■外来患者数	延べ343,796人 ※2024年4月~2025年3月	■救急外来患者数	51.8人/日 ※2024年4月~2025年3月
■常勤医師数	307名 ※2025年11月現在	■臨床研修医数	44名(歯科含む) ※2025年11月現在	■入院患者数	延べ245,735人 ※2024年4月~2025年3月	■救急車搬送件数	23.3件/日 ※2024年4月~2025年3月



臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術など基本的診療能力を習得するとともに、診療に際し患者及び医療スタッフと良好な関係を構築できる人格を涵養し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る医師としての社会的役割を理解し実践できる。

臨床研修の基本方針

臨床に携わる全ての医師が、初期診療において必要な診断、治療上の基本的知識、技能を習得するとともに、望ましい医師としての態度を身につけることを目的とする。

臨床研修一般目標

- 各領域にわたる基本的な診療(プライマリケア)能力を身につける。
- 頻度の高い疾病や外傷の診断と治療ができる。
- 救急の初期診療を習得する。
- 患者およびその家族との信頼関係を確立できる。
- チーム医療の必要性を理解し、実践できる。
- 在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療を実践できる。
- 赤十字病院の医師として災害時における医療の提供について学ぶ。

+

- 小児科プログラム** ●小児科疾患の各専門分野の診断および治療を知る。 ●患児のみならずその保護者との信頼関係も築く。
- 産婦人科プログラム** ●産婦人科の各専門分野の診断および治療を知る。
- 地域医療プログラム** ●医師少数区域における医療提供体制を学ぶ。

病院見学のご案内

80有余年の歴史を持つ日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院の特徴は「専門科の垣根を越えた医療を実践するシステム」と「職種を越えたチームワークの良さ」です。是非、その活気あふれる医療現場を体感しに来てください。

見学可能診療科

・腎臓内科	・循環器内科	・一般・消化器外科	・呼吸器外科	・脳神経外科	・産婦人科	・病理部
・内分泌内科	・呼吸器内科	・乳腺外科	・小児外科	・形成外科	・眼科	・救急部
・血液内科	・消化器内科	・血管外科	・整形外科	・泌尿器科	・耳鼻咽喉科	・麻酔科
・脳神経内科	・小児科	・心臓血管外科	・皮膚科	・女性泌尿器科	・歯科口腔外科	・放射線科

注意事項

- ① 見学申込は必ず希望日の3週間前までをお願いします。
- ② 1日につき1診療科の見学プランを準備しています。
- ③ 夜間は原則として見学はできませんが、相談に応じます。
- ④ 当院には見学者用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- ⑤ 病院見学の評価の一部を初期臨床研修医の選考に活用しています。当院での臨床研修を希望する方は、必ず見学にお越しください。



お問い合わせ先(教育研修管理課)
日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院
Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital
http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/
TEL:052-481-5111(代表)(内線54145)
kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp

見学はホームページの
申込フォームから
お申し込みください。



https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/recruit/schedule_tour/entry_tour/



@nagoya1_jrc

なかむらにつせき 病院見学 検索



2027 臨床研修医募集



挑む情熱。



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院
Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital

経験が、未来をひらく。

幅広い症例を経験し、診療科の新たな魅力を発見。

INTERVIEW 01

一般プログラム

一般プログラムは必修ローテートと選択ローテートで構成されており、必修ローテートでは、内科系は7診療科から6診療科以上を、外科系は一般・消化器外科に加えてその他の外科系診療科を合計8週間以上ローテートします。選択ローテートでは、30以上の診療科・部門から自らの興味に沿って1週間単位でローテートすることが可能です。当院には幅広い診療科が揃っているため、common diseaseから高度な専門的医療を要する疾患まで経験することができ、学生時代には気づかなかった診療科の新しい魅力にも触れることができます。志望科を決めている方はもちろん、まだ決めていない方にも魅力的な環境です。

PRIVATE

旅行が好きで、先日は奈良県の高松塚古墳に行ってきました。



野村 公作
Nomura Kosaku
2024年 名古屋大学卒業
●志望科：呼吸器内科
●趣味：野球観戦

“小児科専門医”を目指す。

専門的な学びと自由度の高さが大きな魅力。

INTERVIEW 02

小児科プログラム

小児科プログラムでは、1年次には一般プログラムと同様のローテートを行い、2年次には小児一般、小児血液、NICUなどを12週ローテートします。小児科全般および新生児、血液、循環器、神経などに関する専門的な内容を学び、豊富な症例を経験できます。それ以外の期間は自分で好きな科を選択することができるため、自由度が高いのが魅力です。また、小児科プログラムを選択することで、専門研修で小児科を専攻する際に当院での研修を行いやすくなるのもポイントです。小児科の先生からご指導いただける機会が多いため、非常に多くのことを吸収できます。

PRIVATE

写真はアラブ首長国連邦のリワ砂漠です。長期休みには自然の中でリフレッシュしますが、特に中東は好きです。



江田 萌乃
Eda Moeno
2025年 旭川医科大学卒業
●志望科：小児科、麻酔科
●趣味：旅行、ゴルフ

ハイレベルな学びがある。

高度な症例や専門的指導でスキルを身につける。

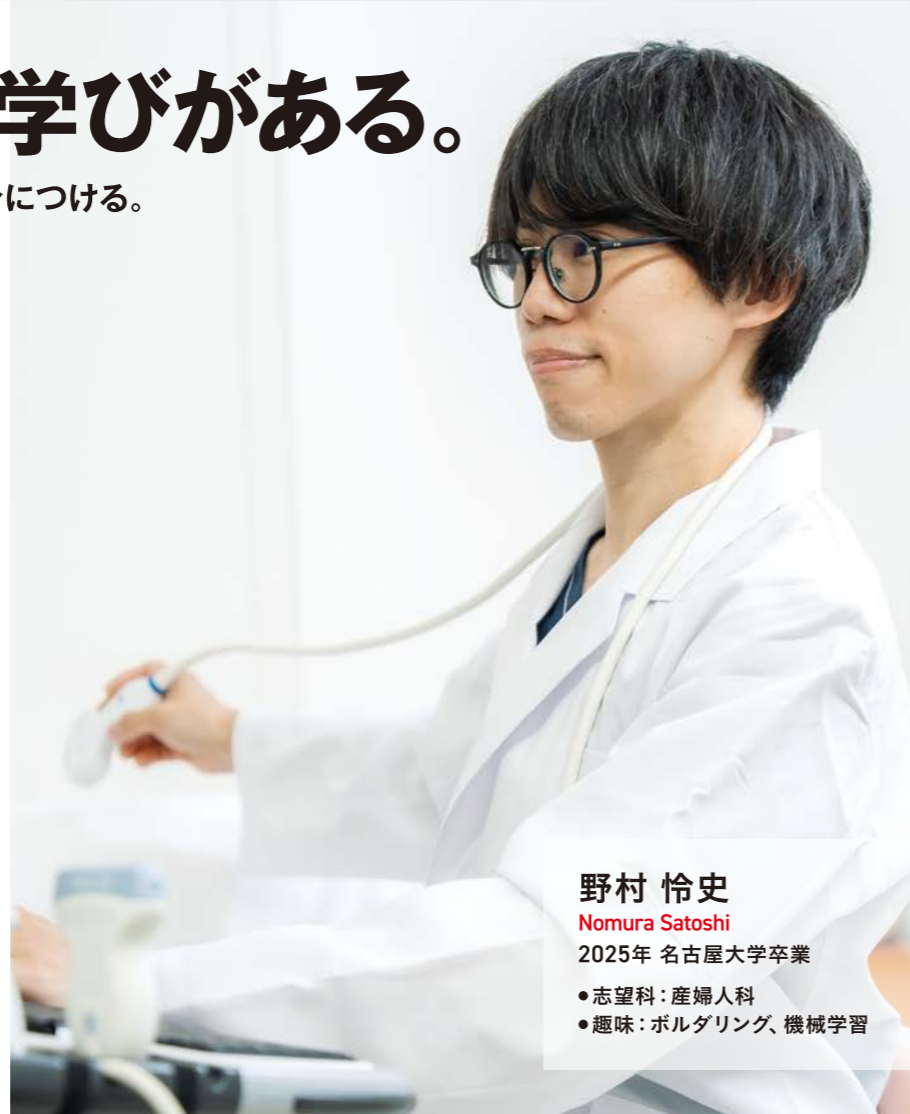
INTERVIEW 03

産婦人科プログラム

産婦人科プログラムでは、2年間の初期研修の中で12週間優先的に産婦人科を選択できます。その他の期間は一般プログラムと同様で、各診療科をローテートするため、3年目以降の専門臨床への土台として有意義な時間を送ることができます。当院は県内でも有数の産婦人科が強い病院です。産科領域では、ハイリスク妊娠の症例が集まるため、母体搬送や緊急手術、胎児治療を要する症例など高度な症例を経験でき、婦人科領域では、開腹・腹腔鏡手術、化学療法、放射線治療について専門的指導を受けながら診療に参加できます。熱心な先生方が多く、初期研修、専門研修の場としてこの上ない環境です。

PRIVATE

趣味のボルダリングです。秋冬は山に籠っています。



野村 怜史
Nomura Satoshi
2025年 名古屋大学卒業
●志望科：産婦人科
●趣味：ボルダリング、機械学習

地域に必要な医療を考える。

初診から入院、そして退院とその後のフォローまで経験。

INTERVIEW 04

地域医療プログラム

地域医療プログラムでは、地域での研修を3ヶ月行います。私は研修医2年目の10~12月に新城市民病院で研修を行いました。高齢化の進む地域では、慢性期やリハビリ目的、社会的な入院の方も多く、普段の研修とは異なる医療の側面を近くで見ることができます。また、初診から入院、そして退院とその後のフォローまでを研修医の時期から診ることができたのは地域医療プログラムならではの経験でした。より患者さんの生活に寄り添った医療を学ぶことができ、将来に活きる研修となりました。

PRIVATE

小笠原に行ったときの写真です。他にも台湾、フィンランド、北海道、奄美などたくさん旅行に行きメリハリのある日々を過ごしています！



伊藤 みなみ
Ito Minami
2024年 自治医科大学卒業
●志望科：循環器内科
●趣味：水泳

口腔外科診療に必要な力を。

今後に生きる、様々な症例の経験と隣接医学研修。

INTERVIEW 05 歯科プログラム

歯科プログラムでは、1年次には主に口腔外科での研修と、隣接医学研修として口腔外科に関連する診療科および病理部での研修を行います。2年次には麻酔科にて術中全身管理の研修を終えたのち、夏以降は口腔外科で研修します。当院の口腔外科は、悪性腫瘍、良性腫瘍、顎変形症、口腔顎顔面外傷、口唇口蓋裂をはじめ、幅広い症例を経験できるのが特徴です。また、指導医の人数が充実しているため、安心して研修できます。隣接医学研修では、各科の指導医が歯科研修医にも常に付き、丁寧に指導してまいります。この恵まれた環境での研修は、今後の口腔外科での研修にも必ず生きてくると確信しています。



PRIVATE

仕事後に研修医で集まってご飯を食べている様子です。

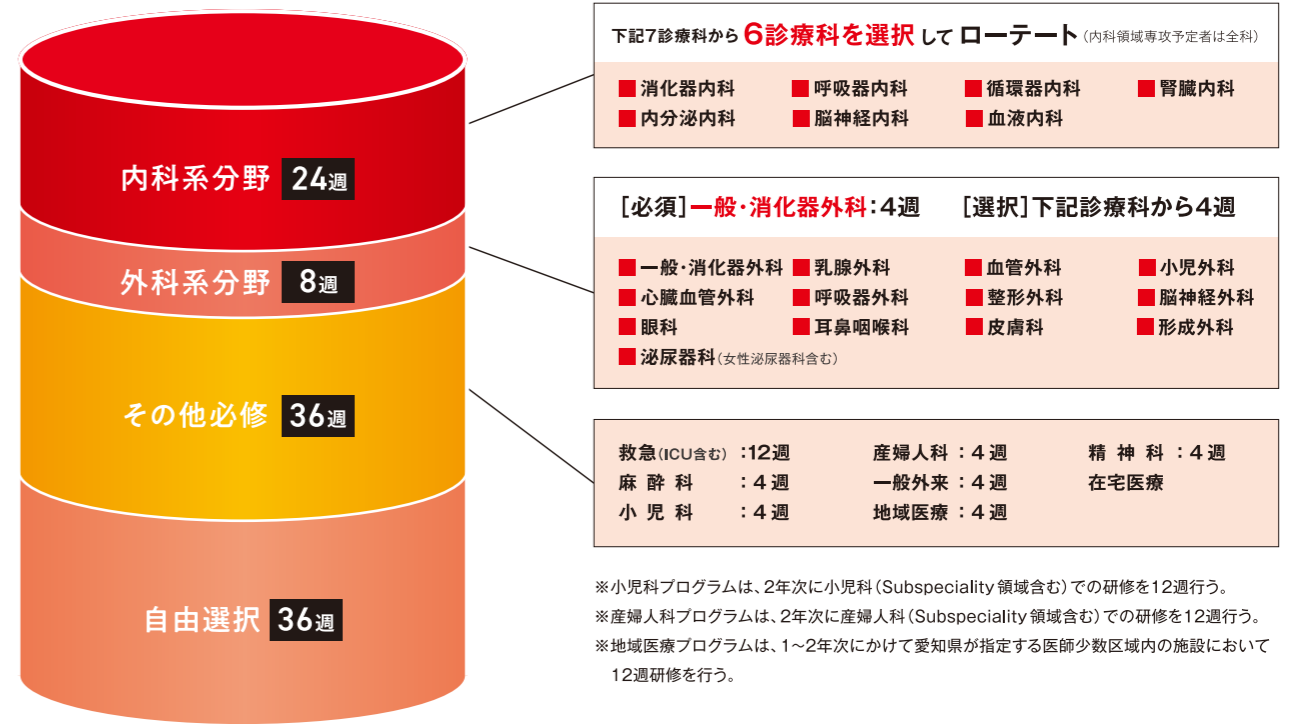


服部 稜
Hattori Ryo
2025年 愛知学院大学卒業
●志望科：口腔外科
●趣味：野球

2年間の臨床研修カリキュラム

必修・選択必修以外は自由選択! 個々のニーズに合わせた研修を組み立てることができます。

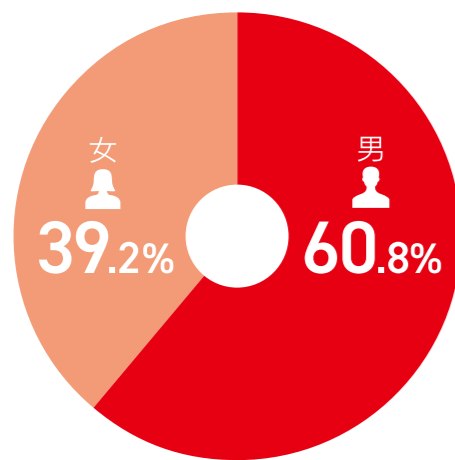
例) 一般プログラム



研修医の男女比

当院では研修医の男女比に大差なく、男女ともに多くの先輩や同期と出会える環境です。

※実績は歯科医師を含む研修修了者数から算出。



(2021~2025年度平均)

研修医の出身大学 (2021~2025年度実績)

- | | | |
|--|---|--------------------------------------|
| 北海道
旭川医科大学 | 中部
浜松医科大学
岐阜大学
名古屋大学
藤田医科大学
愛知学院大学
名古屋市立大学
三重大学 | 九州・沖縄
九州歯科大学
久留米大学 |
| 東北
東北大学
弘前大学
秋田大学
新潟大学 | 関西
滋賀医科大学
大阪大学
大阪医科薬科大学 | 中国・四国
広島大学
徳島大学
山口大学 |
| 関東甲信越
横浜市立大学
昭和医科大学
東海大学
東京大学
東京医科歯科大学
自治医科大学
山梨大学 | 北陸
福井大学 | |



指導医数・メンター制度について



多彩な診療科が揃う当院には、多くの指導医が在席。手厚い指導を受けられます。
※指導医は指導医講習会を受講済です。



腎臓内科	3名	血管外科	4名	眼科	1名
内分泌内科	3名	心臓血管外科	3名	耳鼻咽喉科	2名
血液内科	2名	呼吸器外科	4名	麻酔科	12名
総合診療科	2名	小児外科	2名	緩和ケア内科	2名
脳神経内科	3名	形成外科	1名	化学療法内科	1名
循環器内科	5名	整形外科	5名	放射線科	5名
呼吸器内科	6名	リハビリテーション科	1名	歯科口腔外科	4名
消化器内科	5名	脳神経外科	3名	病理部	2名
精神科	3名	皮膚科	1名	救急部	3名
小児科	15名	泌尿器科	2名	輸血部	1名
一般消化器外科	7名	女性泌尿器科	1名	健診部	1名
乳腺外科	3名	産婦人科	9名	検査部	1名

メンター制度

指導医資格を持つ医師がメンターとなり、2ヶ月に1回以上の面談を通して研修の進捗状況や進路選択について助言を行い、研修生活をサポートします。メンターとなる医師は研修医自身で選択することができます。



患者さんに寄り添える 呼吸器内科医へ。

診察スキルや手技を身につけ、親身で適切な診療を。

1DAY SCHEDULE

呼吸器内科研修医の一日

私は、悪性腫瘍や感染症、アレルギー疾患と幅広く診療が行える点に魅力を感じ、呼吸器内科を志望しました。研修では、自分の行った初期対応が患者さんの救命につながった際にやりがいを感じています。また、患者さんやそのご家族のお話をしっかりと聞くことの大切さを学びました。まずは内科医としての基礎を築き、患者さんに寄り添いながら適切な診療を行える呼吸器内科医を目指します。



始業前	10:00	12:00	13:00	17:00	17:20
症例カンファレンス 担当患者さんの身体所見、採血結果、画像検査をまとめてプレゼンを行い、上級医の先生方と方針を検討します。	病棟回診 担当患者さんのお話を聞いたり身体診察を行ったり検査結果を確認したりすることで治療経過を評価し、今後の治療方針を考えます。	昼食 食堂で同期と一緒に昼食をとることが多いです。	気管支鏡検査(補助) 喉頭麻酔、バイタルの確認、気管支鏡検査の補助を行います。先生方に指導していただきながら実際に内腔観察を行うこともあります。	症例検討会 興味深い症例について科全体で検討します。複数の科で集まって治療方針の話し合いを行うこともあります。	終業・帰宅 帰宅後は同期とご飯を食べに行ったり、買い物に行ったりすることが多いです。



1ST YEAR ROTATION

4月	オリエンテーション/循環器内科
5月	循環器内科/乳腺外科/救急部
6月	救急部/呼吸器内科
7月	呼吸器内科/消化器内科
8月	消化器内科
9月	麻酔科
10月	麻酔科/皮膚科/小児外科
11月	小児科/産婦人科
12月	産婦人科/脳神経内科
1月	脳神経内科/一般・消化器外科
2月	一般・消化器外科
3月	地域医療・一般外来(外部施設)

2ND YEAR ROTATION

4月	救急部
5月	ICU/精神科(外部施設)
6月	精神科(院内)/脳神経内科
7月	脳神経内科/放射線科/化学療法内科
8月	内分泌内科
9月	検査部/病理部
10月	救急部
11月	救急部/腎臓内科
12月	腎臓内科/血液内科
1月	血液内科/呼吸器外科/呼吸器内科
2月	呼吸器内科
3月	感染制御部



内科総合

先生のご指導の下、患者さんの診察をします。診察の仕方から診断の考え方までご指導いただけるため、とても勉強になります。



注射当番

PET検査や造影CT検査を行う患者さんの点滴ルートを確認します。造影剤によるアナフィラキシーショックの対応も行います。



献血当番

人の多く集まる場所に赴き、献血を呼びかけます。献血希望の方に対しては、持病や服薬状況を確認し、献血の可否を確認します。

小川 紗葵 Ogawa Saki

2024年 名古屋大学卒業

●志望科：呼吸器内科 ●趣味：旅行

救急について

勤務体制について

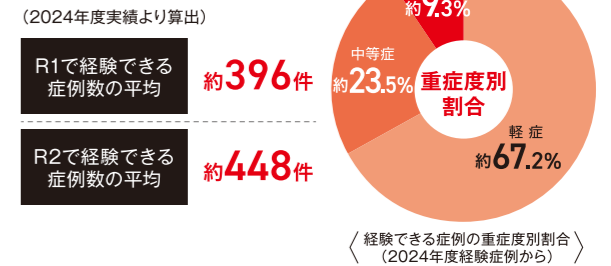
救急外来では主にR1がwalk in患者、R2が救急車で搬送された患者の初期対応を行います。当院は三次救急病院であり、軽症~重症まで様々な疾患を持った患者が搬送されます。通常の外来診察と異なり、より緊迫した雰囲気の中でスピード感を持った対応が求められるため、慣れないうちは大変なことも多いですが、年次の近い上級医がいるため、困ったときは迷わず相談しながら多くの経験を積み、成長を重ねていってください。



救急搬送件数

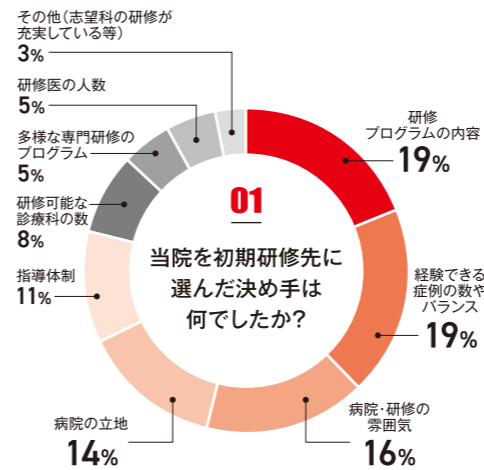
(2023年度)		(2024年度)	
救急車	時間内 2,093件 時間外 5,250件	救急車	時間内 2,550件 時間外 5,948件
Walk in	時間内 2,140件 時間外 8,485件	Walk in	時間内 2,441件 時間外 7,982件

経験症例数



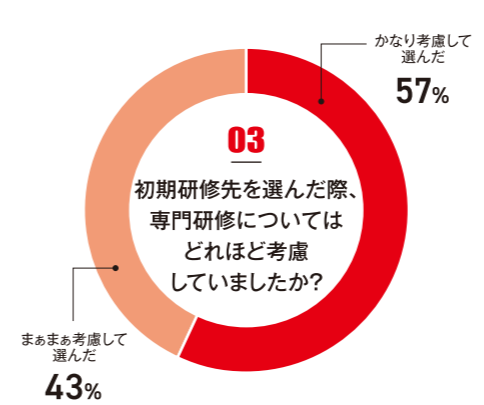
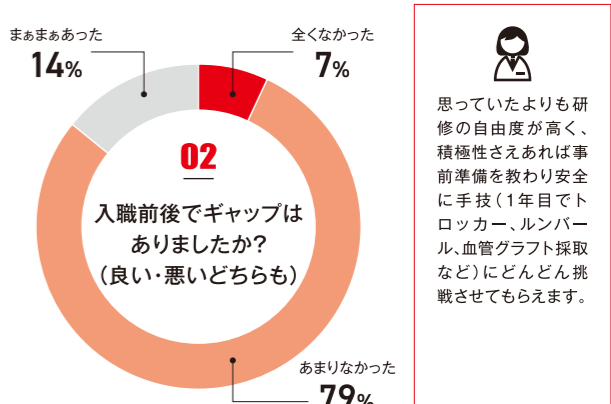
教えて! センパイ研修医!

2025年4月に研修をスタートした1年目の研修医に、初期研修先の決め手から、当院の個人的お気に入りポイントまで色々聞いてみました!



診療科が豊富だと、救急車で経験できる疾患も豊富になると考えました。

指導医の人数が多いだけでなく、説明が上手いスタッフが非常に多いです。



初期研修終了後、そのまま同じ病院で専門研修を行ったかったため。

産婦人科志望のため、産婦人科の症例数の多いこの病院で研修したいと思った。

04 当院や当院の研修の「雰囲気」を一言で表すと?

あたたかい雰囲気
穏やか
自由

アカデミックで真面目な雰囲気
+馴染みやすい人が多い

なんだかんだ真面目
ホワイト
和気あいあい
明るい(×チャライ)

05 最後に、個人的当院のお気に入りポイントを教えてください!

名古屋駅から徒歩近い! 退勤後にそのまま名古屋駅でご飯を食べたりできる

職員がみんな優しい!

当直明けに支給される朝食、特に焼き魚定食が美味しい! ×4名

成長につながる、様々な学びの場。

多彩なプログラムが、学びをより豊かにする。

LEARNING & EVENTS

豊富な勉強会・行事

当院では、日々の研修に加え豊富な勉強会を用意し、充実した学びの場を整えています。院内外の講師による多彩なプログラムが皆さんの学びをより豊かなものにします。また、勉強会に限らず、1年次生が計画から運営、撤収まで全てを行い院内の職員をもてなす「もちつき大会」のほか、「医局新年会」などの行事も催行されており、医師や他職種の職員との交流を深める機会もあります。こうした豊富なプログラムを通して有意義な2年間を過ごし、進路をじっくり見極めてください。

- 主な勉強会の一例
- 医療安全研修会 (年2回)
 - 感染対策研修会 (年2回)
 - 倫理講演会
 - 緩和ケア研修会
 - ACP勉強会
 - ICLS

モーニングカンファレンス



平日毎朝開催

救急外来で経験する症例について、各診療科の医師が講義を行っています。早起きは大変ですが、診療スキルを磨くための重要な勉強会であるため、欠かさず出席することが重要です。

※その他に下記講義などを予定
・造形剤・薬剤の禁忌情報、薬剤疑義照会についての講義
・腎臓内科、内分泌内科、血液内科医師による講義
・R1による症例共有

週間予定表	2025年12月時点				
	月	火	水	木	金
第1週目	救急部	泌尿器科	放射線科	一般消化器外科	呼吸器内科
第2週目	救急部	脳神経内科	小児科	総合診療科	消化器内科
第3週目	救急部	整形外科	消化器内科	脳神経外科	脳神経内科
第4週目	救急部	産婦人科	小児科	循環器内科	脳神経内科
第5週目	救急部	*	*	*	*

コアレクチャー



毎週金曜日開催

当院の職員や外部講師を招聘しての勉強会を1時間ほど開催しています。
※毎月第4金曜日はCPCが開催されます。剖検症例について研修医が所見を発表し討論を行います。

技術研修



年1回開催

年に1度、シミュレーターを用いて基本的手技の実習や救急の現場を想定したシミュレーション等を実施します。
(2025年度に行ったもの)人工呼吸器・CVカテーテル挿入・骨髄内輸液・腰椎穿刺・皮膚縫合・ワークショップ・シナリオシミュレーション・小児ルート固定

もちつき大会



年1回開催

1年次の研修医が企画段階から自分たちで創り上げる行事です。日頃の研修生活を支える職員たちをもてなす新年最初の行事です。研修医が作るつきたての餅が振る舞われ、職員一同が楽しみにしています。

大規模災害訓練



年1回開催

大規模災害発生時を想定した訓練が実施されます。患者役や救護エリアの医師役といった役割を経験し、訓練を通して災害発生時における初動対応や地域中核災害拠点病院としての役割などを理解します。

“臨床力”を養う、充実の専門研修。

初期研修の経験を次につなげる。

専門研修プログラム(基本領域)

初期臨床研修を修了した8割近くの研修医は、引き続き当院での専門研修に進みます。当院が基幹プログラムを有する6領域以外では、主に名古屋大学医学部附属病院プログラムの連携施設となっており、専門医取得・更新に必要な講習を院内で開催するなど病院全体で専門研修をサポートしています。また、専門医資格取得からSubspeciality領域の専門研修へと連続的な研修が可能となるように配慮しています。

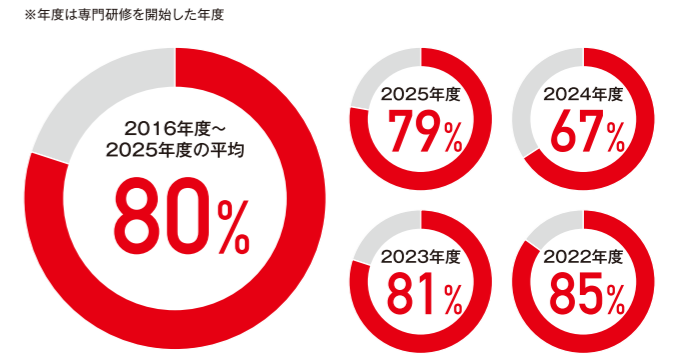


専攻医在籍状況 (2025年11月現在)

基幹プログラム*		連携プログラム		診療科		専攻医	
診療科	専攻医	診療科	専攻医	診療科	専攻医	診療科	専攻医
内科	34人	皮膚科	2人	放射線科	2人		
小児科	5人	整形外科	3人	麻酔科	5人		
外科	6人	眼科	0人	形成外科	1人		
産婦人科	11人	耳鼻咽喉科	2人				
病理部	2人	泌尿器科	3人				
救急科	0人	脳神経外科	0人				

*連携施設研修中含む

専門研修を当院で継続して行う研修医の割合



当院で初期研修を行った専攻医にインタビュー



大谷 紗公乃
Otani Sakino
2023年 名古屋大学卒業

INTERVIEW 01 小児科専攻医 / R3

当院の初期研修は、必須ローテートに加え、自由な選択期間が長いのが特徴です。私は小児科を志望していたため、小児外科やNICUのローテートを行い、専門研修に備えることができました。外部研修の選択肢も幅広く、北海道や岐阜県の病院でも研修させていただきました。様々な地域の医療に携わることができとてもよい経験になったと感じています。また、初期研修から継続して当院で研修を行うことで、一貫した環境で幅広い症例を経験することができ、病棟管理や救急での対応力を身につけることができました。学生の皆さんはぜひ一度見学にお越しください。



箕浦 広大
Minoura Kodai
2022年 名古屋大学卒業

INTERVIEW 02 産婦人科専攻医 / R4

当院は内科・外科の診療科が揃っており、県内でも有数の症例数を誇るため満遍なく幅広い経験を積むことができます。教育熱心な指導医のもと、やる気次第で主体的に診療へ関わることが可能で、多彩な手技を経験できる点も大きな魅力です。研修医のあいだに培った救急対応や全身管理の基礎知識は、今も臨床の土台として生きています。また、同期が多く、専攻医となった今でも気軽に相談し合える仲間がいて、心強さを感じています。充実した環境で確かな力を身につけ、臨床医としての第一歩をぜひ当院で踏み出してください。

頼れる指導医と仲間にもまれて 多くの学びを得る2年間。

初期研修医4名が、研修について語り合いました。

CROSSTALK 研修医トーク

—当院を選んだ決め手は？

伊藤:3年目以降の専攻科を見据えた充実したプログラムがあること、見学の際に雰囲気の良いと感じたことが決め手でした。

石田:私は初期研修で基本的な診療能力を身につけたいと思っていたので、幅広い診療科があり、研修医の指導体制が整っている当院を選びました。

水谷:同じく、診療科の多さが魅力的でした。さまざまな科を経験しながら将来について考えられるのではないかと思います。また、同期の人数が多く、和気あいあいと研修できそうなところもポイントでした。

杉谷:私は内科医を目指しているのですが、内科領域を幅広く担い、症例数が多い当院を選びました。マイナーな内科も医師の人数が充実しているの、しっかり学べるのではないかと思います。

—研修生活はどうか？

伊藤:指導医の先生はもちろんのこと、他職種の方々も優しくサポートして下さるので安心して研修生活を送れています。

石田:指導医の先生が研修医の志望科を把握されていて、一人ひとりにとって有意義な研修にな

るようにして下さったのがとても嬉しかったです。熱い気持ちを持った先生が多いと感じます。

水谷:私もそう思います。整形外科医を目指しているの、ほかの科で研修をしている際にも整形外科に関連する疾患や診察方法を学ばせていただき、日々たくさんの知識を得ることができています。

杉谷:先生方が私達をしっかりと見てくださっていて、一人ひとりに何が足りないのかを考えながら指導して下さるのがいいと思います。

—同期や先輩たちとの関係は？

伊藤:同期と一緒に仲良く研修生活を送っています。先輩方は気軽に声をかけて下さるあたたかいばかりで、心の支えになっています。

石田:先輩方はいつも私達を気にかけてくれて、困ったときには助けて下さるのでとてもありがたいですね。同期にはいつも相談に乗ってもらっています。

水谷:私は気の合う同期と出会うことが当院の魅力のひとつだと思っています。院内に仲間がいると思うと心強いです。同期との飲み会が仕事のモチベーションにつながっています。

杉谷:勉強熱心な人が多いので、何か疑問があれば誰かが必ず答えてくれるのがとても助かります。また、水谷さんの言うように研修医が気軽に集まるような和やかな雰囲気があるのがいいところです。

—休日の過ごし方を教えてください

伊藤:私は仕事とプライベートでメリハリをつけていて、自宅ではのんびり過ごしています。趣味の料理や旅行も楽しんでいます。

水谷:私は、友人と飲みに行ったり、旅行をしたり、家でバスケットボール観戦をしたりと、いろいろな予定を入れて充実させています。

石田:私も友人と食事をしたり遠出をしたりすることが多いです。研修医寮から名古屋駅までが近いので、出かけやすいのがいいですね。

杉谷:立地がいいですね。思い立ったときにすぐ名古屋駅周辺でお買い物できる環境が気に入っています。家では趣味のギターを楽しんでいます。

—今の目標や抱負をお聞かせください

伊藤:初期研修の2年間で、わからないことをきちんと理解できるようにする、何かをするチャンスがあれば手を挙げるなどして、積極的に学んでいきたいです。

水谷:私は、整形外科の勉強もしつつ、病棟管理や救急外来での対応なども身につけていきたいです。

石田:一日でも早く一人で患者さんを診られるようになることが目標です。そのためにも、現場でたくさんのことを吸収していきたいです。

杉谷:今はファーストタッチ後に各科に引き継いでいるのですが、今後はその先の治療や疾患についての知識を深め、患者さんが治療を終了して家に戻るまでのことまで考えられるようになりたいです。

CROSSTALK

一般プログラム[R1]

伊藤 莉子 Ito Riko

2025年 新潟大学卒

- 志望科：産婦人科
- 趣味：料理

一般プログラム[R2]

水谷 元紀 Mizutani Genki

2024年 三重大学卒

- 志望科：整形外科
- 趣味：バスケットボール



一般プログラム[R2]

杉谷 直紀 Sugitani Naoki

2024年 名古屋大学卒

- 志望科：内分泌内科
- 趣味：ギター

一般プログラム[R1]

石田 未来 Ishida Mirai

2025年 名古屋大学卒

- 志望科：乳腺外科
- 趣味：ゴルフ

幅広い学びと丁寧な指導が魅力

MESSAGE 01

最優秀研修医からのメッセージ

大規模病院であり症例数が豊富であることに加え、幅広い科の先生方と接することができるのが当院の大きな魅力の一つだと思っています。病院全体で研修医を育てる体制が整っており、ローテートや勉強会を通して各分野のエキスパートから丁寧な指導を受けることができます。私も温かいご指導のもと、たくさんの同期と切磋琢磨しながら少しずつ成長を実感できています。皆さんと一緒に当院で働けるのを楽しみにお待ちしております。



大木 有佳

Oki Yuka

2024年 名古屋大学卒



熱心な先生のもとで学べる2年間

MESSAGE 02

最優秀指導医からのメッセージ

当院は多くの診療科を有し、症例数が豊富なことが特徴です。熱心な先生の指導のもとで幅広い臨床経験を積むことができ、多職種と連携した診療を通じてチーム医療やコミュニケーションの重要性も学べます。22名の同期とともに充実した2年間を過ごすことができ、公私ともに一生付き合う仲間と出会う環境です。3年目以降の志望科が決まっている方も、迷っている方も、医師としての確かな第一歩を踏み出せます。



稲垣 雅康

Inagaki Masayasu

三重大学卒
呼吸器内科 医長

